

かわら版通信

2012年 5月号
vol.2

大和屋 株式会社 建材部
〒360-0031 埼玉県熊谷市末広2-118
TEL: 048-526-1008

すてきなうち

今号から、大和屋のお客様が建てられたお家を紹介させていただきます。

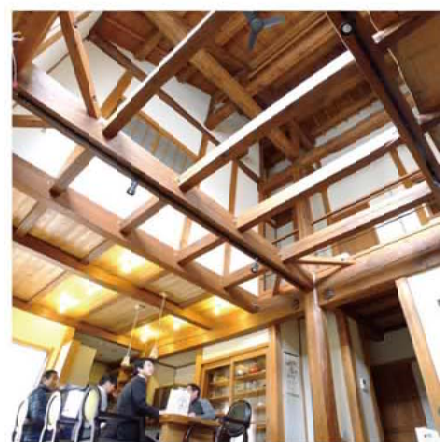


▲ A様ご夫婦

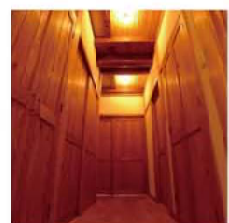
記念すべき第1回目にご紹介させていただくのは、入間市にお住まいのA様です。

A様のお家は、古材を再生し、約1年かけて完成したお家です。その古材はなんと、入間市指定文化財の旧黒須銀行が所有していた質蔵に使用されていたものです。蔵で使用されていた梁や大黒柱は圧巻です。

家を作るに当たり、テーマにしたものは【旅館】だそうです。寝室からすぐに行くことができるトイレ・洗面室・浴室。竹の床や、2台並んだ洗面台、本当に旅行先で泊まる旅館のようでした。タモの一枚板から、洗面カウンターとダイニングテーブルが作られています。



▲ 梁・吹き抜け



▲ 寝室からトイレにつながる廊下



▲ 洗面室

それだけでなく、階段はカシとナラの一枚板を使用しており、一枚一枚厚みも異なります。階段の手すり受けは、鉄鋼関係の仕事をしているA様のお手製。ご自分で作ったものも使って家を作り上げていくなんてうらやましいですね。



▲ 階段

▲ 手すり受け

何でも、物を購入する際にはご自分の目で実際に見ていいと思ったものを選ぶというA様。少し高くても、ずっと使える・耐久性のあるものを選ぶそうです。こういった考えをお持ちのA様だから、このようにたくさんのこだわりの詰まった素敵なお家になったのだと思います。

今後はこの楽しみを息子さんにも味わって欲しいと笑顔で話してくださいました。

(橋本)

すてきな 工務店紹介

『磨かれて小さくなるより、転がって大きくなる』
～やりたいことをすべてを家づくりにつなげる～

諸井工務店の諸井昌典社長はとにかくバイタリティーにあふれています。

活動は工務店の範囲を大きく超えて、カフェ・雑貨店の経営や、ワークショップの開設などに広がっています。しかし、そのいずれも「家を建てたい人を手伝いたい」という一点につながっています。「やりたいことが多すぎて統れない」と言いながらも、新しいことに次々と取り組んでいく姿勢は、今、地域の工務店に最も求められ、大手メーカーにまねのできないことではないでしょうか？

どんなことでも「ぜんぜんOKです!」と請け負う、その言葉の裏にあるのは、たゆまない努力からでる「自信」なのでしょう。

数多くの工務店を回ったお施主様が決めになることも多く、中には100社以上回ったという方も。他に無い、できない家づくりを探求していくことが、大きな魅力になっているのでしょう。

現在、自宅とモデルハウスを同時建築中であり、その勢いはとどまりません。

(山岡)



▲ バイタリティーあふれる諸井社長

●会社概要
会社名: (有)諸井工務店
代表者: 諸井 昌典
エリア: 関東から全国まで
所在地: 埼玉県入間市
電話: 04-2964-4540

イベント掲示板

第18回 建築・建材展2012



▲ 大和屋ブースの様子

3月6日から9日まで東京ビックサイトで行われた「建築・建材展2012」。大盛況のうちに幕を閉じました。多くのご来場をいただき誠にありがとうございました。4日間で119,816人の来場があり、大和屋のブースも大いに盛り上がりしました。

今回はレッドパイン三層板パネルを中心に、大和屋の特徴である無垢フローリングやサーモアッシュデッキ材を出展しました。ご来場いただけなかった方も、ぜひ営業担当または弊社コールセンターまでお声かけください。説明資料やサンプルをお届け致します!

(染野)

大和屋ニュース

東日本大震災から1年が経ちました。この節目の機会に、改めて大震災の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたします。

3月11日(日)、『3.11熊谷 チャリティーウォーク』を開催いたしました。

当日の朝は、雨が降り寒い中にも関わらず、191名の方にご参加いただき、3.6・9kmの3コースに分かれて市内の名所・旧跡を歩きました。

チャリティーウォークの義援金118,800円、当日会場に設置された募金箱13,274円、2011年12月3日～11日にくまがや館2階ギャラリーにて開催された『東日本大震災支援チャリティー作品展』の売上の一部合わせて、岩手県宮古市に寄付させていただきました。

たくさんの方々のご参加、誠にありがとうございました。



イベントの様子はこちらもご覧ください。

<http://www.kumagayakan.net/188/3.11.html>

(橋本)

マメ知識

“針葉樹”と“広葉樹”

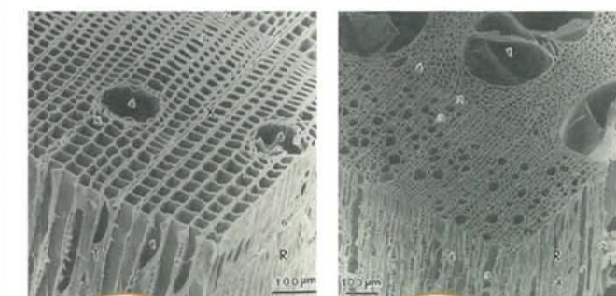
その名の通り、葉の幅の狭いものと広いもの...だけじゃない! 中身にも様々な違いがあります。

針葉樹の細胞組織は、ストローの束をより集めたようにすっきりとシンプルなのに対し、広葉樹の組織は、毛織物のように、縦横に様々な細胞が織り込まれていてとても複雑です。

針葉樹が加工しやすいソフトウッド、広葉樹が堅いハードウッドと呼ばれるのも、この組織の複雑さゆえです。また広葉樹の方が組織のバリエーションがありますので、極端に重い樹種や軽い樹種、ゴムの木のように独自の樹液が出るものなど、個性豊かな面々が多くあります。

他にも、リケニンの核やセルロースの比など、分類する指標はいくつかありますが、どれも広葉樹の方が複雑です。

では最後に問題です。イチヨウはどちらの分類でしょうか? じつは「どちらでもない」が正解です。針葉樹や広葉樹が現れるはるか昔に進化した、かなり特殊な歴史を持つ樹なのですよ。



▲ 針葉樹

▲ 広葉樹

(宮崎)

編集後記

大和屋建材部より、かわら版通信 vol.2をお送りいたします。今号より、巻頭に“すてきなうち”というコーナーが始まりました。自慢したいお家がありでしたら、ぜひご紹介ください。

3月に行われました、『建築・建材展』関東で快適な住まいと環境を考える会 活動説明会には多くの方にお越しいただき、誠にありがとうございました。

商品・会に関するお問い合わせがございましたら、お気軽に大和屋までご連絡ください。

(橋本)

レッドパイン 大和屋

検索

コールセンター ☎ 048-526-1008